

春風秋霜 2月号

令和3年2月1日
島田市教育委員会より
教育長 濱田和彦

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 成人式を終えて

今年の成人式は15人の成人が参加し、その様子をオンラインで中継しました。例年のように成人が一堂に会して行うことができませんでしたが、島田工業高校の生徒の皆さんの協力により生中継できたため、何人もの市民から成人式を見たという声を聞きました。その中には、家族に成人がいない方からの声もあったので、オンラインは新しい式の方法だと思いました。

市長は挨拶の中で、「将来の夢を語る暇があったら、黙って今やるべきことに集中する」というイチロー選手の言葉を紹介し、「将来に期待するのは必要ですが、もっと大切なことは今を大切にすることです」と話しています。この言葉は、成人だけでなく多くの児童生徒にも当てはまる言葉です。

コロナ下では今後の不透明感が強まりました。将来に不安を持つ子供も多く、明確な夢を抱くことも難しくなりました。そんな時だからこそ、今できることに全力を尽くすことが大切になるのです。子供たちが今日という日を大切に、一步一步着実に前に進んでくれることを期待しています。

2 学校訪問から

1月13日(水)に第五小学校を訪問しました。第五小学校では、子供たちが自ら判断する力を養うため、子供間のトラブル解決において、子供たち自ら問題を解決できるように支援していることや、子供の使う語彙を増やす取り組みをしていました。

子供に解決させることは時間がかかりますが、継続して取り組み、確かな成果となっているそうです。また、「言葉の宝箱」という発達段階に応じた語彙の一覧表を活用し、語彙力の向上に努めているとのことでした。子供たちの会話の中の感情表現が、おもしろい、うれしい、こまるなど、低学年の表現が高学年でも使われ、複雑な感情表現ができていないことを課題としたからです。『言葉が感覚や感情を決める』と脳科学の本で読んだことがあります。たくさんの感情や感覚を表現する言葉をつかう人は、たくさんの感情や感覚を脳が区別して認識するようになるということです。語彙を増やすことは、心を育てるためにも大切にしたいことだと思います。

六合東小学校では、表情豊かな先生や机間指導を丁寧に行っている先生が印象に残りました。また「話す・聞く」の切り替えがしっかりできている授業を見て、道徳授業の研究指定で培った対話的・主体的な学びが生きていると思いました。第三小学校では、子供たちとともに学習課題をつくる授業を参観し、子供たちの主体性の育ちを感じました。

本年度も残り僅かとなり、来年度の教育課程もほぼ固まっているものと思われます。どの学校も願う子供



の姿を明確にし、その姿に迫る様々な手立ても考えられているものと思います。手立てを明確してこそ、効果の検証が可能になります。また、手立ての検証を随時行い、改善を行うことも求められます。コロナ対応が続く中ですが、よろしくお願いいたします。

3 エアコンの冬季使用について

1月22日（金）に総合教育会議が行われ、冬季のエアコン使用について話し合われました。教育委員からは1月の学校訪問において、換気された教室の寒さへの指摘や、暖房に必要な費用への質問などが出されました。

本年度は冬季エアコンの電気代を予算化できなかつたので、原則として使用はこれまでできませんでした。しかし、この会議では、今冬の寒さを考えると暖房は必要という考えでまとまりました。今後は、示された使用基準に従って暖房を使用することができます。

冬季の暖房代は、1300～1400万円ほどが予想されます。厳しい予算の中で対応するため、基準を守った使用をお願いいたします。また、少しでも節電するために各校の工夫もお願いします。エアコンは起動時に多量の電気を必要とするため全校同時に起動しない、室温を上げるため休み時間はカーテンを開けて日差しを取り込む、風の強さによって窓の開ける幅を調整するなど、電気代を抑えるためにはこまめな対応が必要になります。よろしくお願いいたします。

肘かけ椅子

岩本 申久 図書館課長

「簡単にできる健康法」

新型コロナウイルスがまだまだ収束しない日々が続き、ステイホームにより家で過ごす時間が増えた方も多いかと思います。

家では、勉強をしたり、何もせずに家でボーッとしたりするのでもいいかもしれませんが、こんな時だからこそ家で簡単にできる健康法を試してみたらどうでしょうか。

NHKの番組で健康になるためには、どうしたらよいかということを取り上げていました。その中でNHKが開発した人工知能「AIひろし」は「運動より食事よりも読書が大事！」という提言をだしたそうです。

番組のスタッフが色んなことを検証したところ健康寿命が全国1位という山梨県は、運動やスポーツの実施率は全国最下位ですが人口10万人あたりの図書館数が全国平均2.61館のところ6.59館もあったそうです。また、アメリカのイエール大学の研究によると読書を全くしない人に比べ週3時間半以上読書をする人は、比較すると約2年も寿命が長くなったということです。さらに読書はアルツハイマーの予防も期待でき、読書習慣のある人は、ない人と比べ発症する確率が2.5倍も低いという結果もでていたとのこと。つまり、だれでも読書を1日30分すれば、健康で長生きすることができるということが分かったそうです。また、いろいろな本に出合う事で人生をより豊かなものにすることもできるということでした。

みなさんもコロナ禍で家にいる時間を利用して、この無料で簡単にできる健康法を図書館の本を借りて試してみてはどうでしょうか。